

出向者・エルダー組合員（営業系統） 意見交換会を開催しました

12月2日、盛岡支部事務所にて盛岡支部主催「出向者・エルダー組合員意見交換会」を開催しました。当日は営業系統で働いている組合員を中心に総勢14名が参加し活発に意見交換がされました。この場で改めて労働組合の必要性を確認し、今後の分会活動の更なる活性化を確認することができました。

それぞれの職場の問題点や業務を行っている上での疑問点を話し合いながら活発に意見交換がされました。主な意見として・・・

- ★沿線駅は殆どが外注化されている。しかし列車遅延の放送や案内が行き届いていないのではないか。
- ★JR本体の社員に列車遅延の理由を問うても返答できなくなっている。教育も含めてサービス低下に繋がっているのではないか。
- ★ワンマン列車の運賃收受の扱いを教えて欲しい。
- ★遺失物搜索の際の指令と車掌の対応方、及び指令と車掌のやり取りについて教えて欲しい。
- ★営業終了時間の他に受付終了時間を設けた方がよい。営業終了時間直前の受付があるため常時超勤扱いになっている。



現在、多くの組合員がエルダー制度を担いグループ会社や本体で活躍しています。しかし厳しい労働条件下で退職するエルダー組合員がいるのも状況です。

4月にはMRSで働いている出向者・エルダー組合員を対象に、そして今回は営業系統で働く組合員を対象に行いました。今後は設備系統や運転系統に従事している組合員の意見交換会も予定しています。グループ会社に働くエルダー組合員や出向組合員の声を把握し、労働組合として労働条件や労働環境の改善を図っていくために今後も開催していきます。